

本島中部及西部、四國、九州、臺灣、支那(香港)。

75. *Polyrhachis dives* H. Smith.

臺灣、支那、シムム、バルマ、マライ半島、印度、
フクリン。

76. *Polyrhachis lakoni* Wheeler.

臺灣。

77. *Polyrhachis* sp.

九州(熊本)。

上記目録に挙げたる者の内疑問の者もあれども先輩の記録せる所なれば疑を存して假に採録す、異名は本邦の蟻を記す場合に用ひられし者の主なるものを録せり、従つて異名は是に限られたるにはあらず。

産地は予が有する標本と、記録されたる正確と思はるゝ者によりて大體に就きて記せり、其の一々の産地を記さずして九州又は本島中部とせるは比較的廣く多く産するを示す者にして詳細は各種の記載を試みる時になさんどす、本邦以外の者は凡て諸家の研究報告によれり。

四、本邦に於ける蟻類の分布

動物分布學上本邦の地は北は舊北州に屬し南は東洋州に入り其間兩者の系種交雜するを以て詳細に是を研究するは興味ある事實に屬す、吾人が蟻を研究するに際して數へたる問題の一は實に是なりとなり、然しながら吾人は本邦各地の蟻を未だ充分に蒐集するの機を有せず、僅少

日本原蟻類に就きて(矢野)

の材料を基礎として次の略説を試みざるを得ざるを悲しむ。

本邦の蟻類を論せしは前に Forel あり後に Wheeler あり、Forel は記して日本群島の蟻類は舊北州系種と印度、馬來區系種の交雜にして後者は其の南部に於て關與する事大なりと云へり、而して附言して其の舊北州系種の二種は新北州系種と關係深しとせり。Wheeler は此に同意を表せり。しかしながら Forel の舉げし二種は北亞米利加之者よりも歐洲産種に近し、然しながら他に三種の舊北邦的なると共に北米的形彩を帶ぶる者ありとせり。然して氏は邦産種を南部亞細亞系、歐羅巴及北部亞細亞系竝に日本特色の種にして舊北州系に屬する者の三に分ちて此れを詳論せり、次ぎて臺灣の蟻を記すにあたりて其の全部が印度、馬來區に屬するを説けり。

予の得たる所も大體に於て前説に一致する者なれども、多少深入りして是を記述せん。予は邦産類を舊北州系種と印度、馬來系種の二に大別し更に其の關係せる所に依りて小別す。

甲 舊北州系種。

イ 舊北州産種と同種なるか、又は其の亞種變種にして樺太、北海道及び本島の中部以北の山地に限らるゝ者は、
Ponera coarctata, *Myrmecina granicola nipponica*, *Myrmica rubra laeviridis*, *M. rubra lobicornis yessensis*,